

記入日： 年 月 日

2025年度 松山大学大学院法学研究科 入学願書・同意書

*1 1. 修士課程（第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅲ期）

*1 1. 一般選抜
2. 社会人特別選抜
3. 実務経験者特別選抜

フリガナ			性別	受験番号	
氏名				*2	
生年月日	西暦 (昭和・平成)年 月 日生		満才	写真貼付欄 1.1か月以内に撮影のもの 2.上半身脱帽、正面向、 無背景（4cm×3cm） 3.全面糊付け 4.写真票・受験票の写真 と同一のものを貼付	
希望指導教員名 *3	第1希望				
	第2希望				

国籍		現住所	〒	
籍			(方)	(携帯 (TEL.))
合格通知の送付先		〒		
		(方)	(携帯 (TEL.))	

- 記入上の注意
- (1) *1 欄は該当するものを○で囲むこと。
 - (2) *2 欄は記入しないこと。
 - (3) *3 希望指導教員名は、「別表1」の演習担当者の中から選択すること。

同意書 「学校法人松山大学個人情報保護に関する基本方針」に記載の個人情報の利用目的や管理措置などを理解し、個人情報の取扱いに同意します。

☐ 同意する 左側の□に✓を入れてください。

履 歴 書

氏名: _____

履 歴		
学 歴	年 月	高等学校・中等教育学校卒業
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

取得資格 免許状など	
---------------	--

注意) ※欄は記入しないこと。
全て提出すること。

キリトリ

2025年度 法学研究科
写 真 票

受験番号	※
写真貼付欄 1. 1か月以内に撮影のもの 2. 上半身脱帽、正面向、 無背景(4cm × 3cm) 3. 全面糊付け 4. 入学願書の写真と 同一のものを貼付	
フリガナ	
氏 名	
生年月日	西暦 (昭和・平成)年 月 日生 満 才

2025年度 法学研究科
受 験 票

受験番号	※
写真貼付欄 1. 1か月以内に撮影のもの 2. 上半身脱帽、正面向、 無背景(4cm × 3cm) 3. 全面糊付け 4. 入学願書の写真と 同一のものを貼付	
フリガナ	
氏 名	
生年月日	西暦 (昭和・平成)年 月 日生 満 才

注) 受験者は必ず本票を携帯すること。

キリトリ

＜ 一般選抜・社会人特別選抜・
実務経験者特別選抜 ＞

研究テーマ（30字程度で記入）

[illegible]

〔松山大学大学院 法学研究科〕

研究歴調書 < 一般選抜・社会人特別選抜
実務経験者特別選抜 >

研究歴および過去の研究業績について

〔松山大学大学院 法学研究科〕

【 研究歴調書の記入について 】

- (1) 一般選抜での出願者は、卒業論文あるいは修士論文について説明してください。これらを執筆したことがない場合はゼミでの研究内容について説明してください。
- (2) 社会人特別選抜・実務経験者特別選抜での出願者は、これまでの研究歴(卒業論文あるいは修士論文等を含む)、または職場での業務実績について説明してください。これまでの研究歴と職場での業務実績との両方について説明していただいても結構です。

研 究 計 画 書 (1) < 一般選抜・社会人特別選抜
実務経験者特別選抜 >

研究テーマの説明および研究計画について

〔松山大学大学院 法学研究科〕

研 究 計 画 書 (2) < 一般選抜・社会人特別選抜
実務経験者特別選抜 >

[illegible]

〔松山大学大学院 法学研究科〕

出願書類チェックシート

出願書類はペン又はボールペンを用い、すべて楷書で記入してください。「出願書類チェックシート」は、出願書類に添付し必ず提出してください。出願書類が不備な場合、「出願書類チェックシート」が添付されていない場合は、願書を受理できませんので注意してください。

フリガナ		
出願者氏名		
出願者電話番号 (緊急連絡先を 記入すること)		
応募区分 (該当する欄に○印を記入 すること)		修士課程・一般選抜
		修士課程・社会人特別選抜
		修士課程・実務経験特別選抜

下記の項目について、募集要項に記載の出願書類を再度確認し、本人確認欄に○印を付してください。

提出書類	確認事項	一般	社会人 特別選抜	実務経験者 特別選抜	本人 確認欄	大学 確認欄
イ 入学願書・同意書	・応募区分 ・願書下方の「記入上の注意」項目 ・写真の貼付 (『写真票・受験票』と同一の写真を使用)	○	○	○		
ロ 履歴書		○	○	○		
ハ 写真票、受験票	・写真の貼付 (『入学願書』と同一の写真を使用)	○	○	○		
ニ 最終出身大学の卒業 (見込)証明書	・最終出身大学が中国の場合:その卒業証書 のコピー及び「公証書」の原本。	○	○	○		
ホ 最終出身大学の 成績証明書	・厳封されている。	○	○	○		
ヘ 志望理由書	・本学所定の用紙。	○	○	○		

提出書類	確認事項	一般	社会人 特別選抜	実務経験者 特別選抜	本人 確認欄	大学 確認欄
ト 研究歴調書	・本学所定用紙又は、A4 判 2,000 文字程度 (ワープロ使用)	○	○	○		
チ 研究計画書(1)・(2)	・本学所定用紙又は、研究計画書(1) A4 判 2,000 文字程度(ワープロ使用)・(2) A4 判 1,000 文字程度(ワープロ使用)	○	○	○		
リ 長期履修学生申請書 類一式(3 種類)	・本学所定用紙	△	△	△		
ヌ 受験承諾書	任意の書式 有職者で勤務を継続しながら就学しようと するものは、職場上司の「受験承諾書」を提 出することが望ましい。	△	△	—		
ル 推薦書	・現在所属する組織の長の推薦書 書式は任意、本学所定書式を利用しても良 い。	—	—	○		
ヲ 検定料振込控(写)	・本人控えのコピー。	○	○	○		
ワ 筆記試験受験願	・専門科目の受験科目は、第1希望の演習 指導教員の専門分野により決まる。	○	○	—		
カ 日本国籍を有しない者については、以下の①～④の書類も用意すること。						
①身元保証書	本学所定の用紙(署名捺印) ※身元保証 人は、日本国籍を有する者、または日 本 に永住する外国人及びそれぞれに準ずる 者 (出入国管理及び難民認定法別表第二 に定める)に限る。	○	—	—		
②印鑑登録証明書	身元保証人の署名欄に捺印した印鑑の「印 鑑登録 証明書」を添付すること。	○	—	—		
③身元保証人の年間の所得及び納税額を証するもの。住民税また は所得税の納税証明書、源泉徴収票、確定申告書(写)のいずれか。		○	—	—		
④身元保証人の身分を証明できるもの(運転免許証等)のコピー。 ※身元保証人が日本国籍を有しない場合は、住民票または住民票 記載事項証明書を提出すること。		○	—	—		
ヨ 日本国籍を有しない者で、かつ、「日本留学試験」または「日本語能力試験」により出願する者は、次の書類も用意すること。						
独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日 本語」の成績通知書、または財団法人日本国際教育支援協会が実 施する「日本 語能力試験」の可否結果通知書(日本語能力認定書も 添付すること)。いずれの場合も原本を提出すること。 *原則として提出された書類は返却しないが、個人情報保護法に基 づき、松山大学で厳重に管理する。ただし、「日本留学試験」の成績 通知書及び「日本語能力試験」の可否結果通知書並びに日本語能 力認定書は返却する。		○	—	—		
タ 出願書類チェックシー ト	・出願書類一式(チェックシートを含む)に 記入漏れ、提出漏れはない。	○	○	○		

(松山大学 法学研究科)

筆記試験受験願

専門科目の受験科目は、第 1 希望の演習指導教員の専門分野により決まります。希望の欄に○をつけて下さい。当日、受験科目の変更は出来ません。

専門科目	演習担当教員	希望
憲法・行政法	倉澤 生雄 教授	
政治学	遠藤 泰弘 教授	
民法	銭 偉栄 教授	
民法	古屋 壮一 教授	
商法	王 原生 教授	
刑法	明照 博章 教授	
刑法	今村 暢好 教授	
労働法	村田 毅之 教授	
法制史	高嶋 めぐみ 教授	

英語又は小論文のどちらで受験をするか、希望の欄に○をつけて下さい。

当日、受験科目の変更はできません。

英語又は小論文	希望
英語	
小論文	

身 元 保 証 書
LETTER OF GUARANTEE

松山大学長 殿

To : The President of Matsuyama University

学 生 氏 名

Name of Student : _____

国 籍

Nationality : _____

生 年 月 日 :

Date of Birth : _____

私は上記の者が松山大学外国人留学生として日本に在留中、責任を持って下記事項を保証致します。

I accept responsibility for the following matters while the above named student is staying in Japan as a foreign student of Matsuyama University.

1. 本人が学業に専念するよう監督すること

To ensure that the student's time is devoted primarily to academic pursuits.

2. 本人が学費、生活費及び帰国旅費を支払えない時の負担

To bear the cost of all school fees, living expenses and travel expenses for the student to return to his or her native country in the event that the student is unable to do so.

3. 本人が日本国法令上関係するあらゆる場合の身元引受け

To ensure that the student will obey the laws and regulations of Japan at all times.

保 証 人 氏 名

Guarantor's full name : _____

現 住 所 〒 _____

Present address : _____

電 話 : (自 宅)

TEL

(勤務先)

職業・勤務先（詳細に）

Occupation (in detail) : _____

本 人 と の 関 係

Relationship to the student : _____

身元保証を引き受けた経緯

Circumstances : _____

日 付

Date : (西暦) 年 月 日

署 名(印)

Signature : _____ 印

※記入された情報は、本入学試験のみに利用し、その他の目的には利用しません。

The personal information will not be used for any purpose other than business operations.

(松山大学大学院 法学研究科)